再評価結果（平成１６年度事業継続箇所）

担　当　課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島　威夫

事業名	一般国道３６７号　葛川（かつらがわ）バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	滋賀県
起終点	自：大津（おおつ）市葛川坂下町（かつらがわさかした） 至：大津（おおつ）市葛川貫井町（かつらがわぬきい）			延長	８．７㎞

事業概要
国道３６７号は、京都と福井を結ぶ全長約５８ｋｍの幹線道路で県内の延長は約３５．２ｋｍ、日本海側との文化交流や産業、観光などの経済活動の支援、また、沿道住民の生活を支えると共に、防災上の緊急輸送路としても重要な２車線道路である。

Ｓ６３年度事業化	Ｈ　年度都市計画決定 （Ｈ　　年度変更）	Ｓ６３年度用地着手	Ｈ２年度工事着手

全体事業費	約１２５億円	事業進捗率	９３．８％	供用済延長	７．１㎞
計画交通量	４５００台／日				

費用対効果分析結果	Ｂ／Ｃ	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) ２．３ (残事業) ２．１	37/184 億円 事　業　費：35 /172億円 維持管理費：　2 /　12億円	77/423 億円 走行時間短縮便益：71 /400 億円 走行費用減少便益：　6 /　22 億円 交通事故減少便益：　0 /　　2 億円	平成１５年

感度分析の結果　残事業において感度分析を実施
交通量変動：B/C=1.9（交通量変動+10%）　B/C=2.3（交通量変動-10%）
事業費変動：B/C=1.9（事業費変動+10%）　B/C=2.3（事業費変動-10%）

事業の効果等
・円滑なモビリティの確保（利便性の向上が期待できるバス路線が存在する。）
・国土・地域ネットワークの構築（大型車すれ違い困難区間が解消される。）　　の２項目

関係する地方公共団体等の意見
国道３６７号の整備は、京都・滋賀・福井の生活の快適性・産業の振興・文化の交流等の向上や地域の進行に期待されており、大津市をはじめとする関係３市２町１村の首長で構成される京都大原今津小浜間国道整備促進期成同盟会より要望（平成13年７月）を受けている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
未完了部分を除き大型車のすれ違いが解消され渋滞の緩和されてきているが、未完了部における通勤時間帯および休祭日の交通渋滞が地域生活に支障となっている。

事業の進捗状況、残事業の内容等
一部において用地補償協議が難航し、事業期間を要しているが、現在までに７．１ｋｍを供用している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
早急に用地買収の完了を行い、平成１０年代後半の供用を目途に事業の推進を図る。

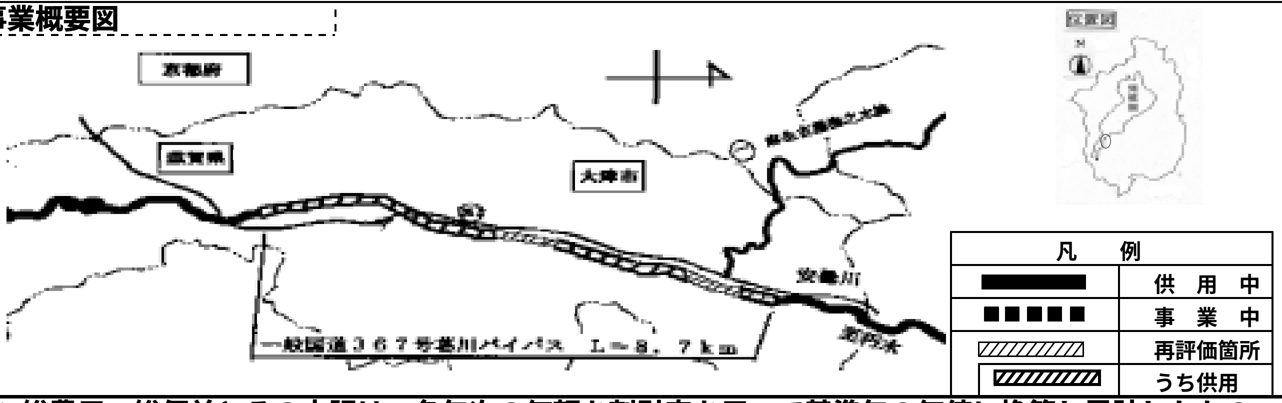
施設の構造や工法の変更等

事業実施において、現地発生土を利用するなどコスト縮減を図っている。

対応方針	事業継続

対応方針決定の理由
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。